

グループホームやまぼうしだより

令和8年7月号

鮮やかな緑がまぶしい季節になりましたが、ご家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日中は気温も上昇し、グループホーム内でも天候に合わせて日中はエアコンを使用し室温調整を行い、熱中症予防に努めていますが、今後もますます夏らしい日々が続くと思いますので、うまく暑気払いしながら快適に過ごしていきたいものです。

お知らせ

～認知症専門ケア加算について～

当事業所では令和8年1月より、「認知症専門ケア加算Ⅰ」（1日につき30円）を算定しており認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方（主治医意見書の記載内容で確認）には利用料金に加算されておりましたが、この度、加算要件である対象者の割合が2分の1以上という要件を満たさなくなりましたので、7月からは算定しないことになりました。

今後、加算要件を満たせるようになった際には、再度お知らせいたしますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ハチ公日記第142

7月にはいり、気温が30度を超える日が続いています。本格的な夏を迎え、熱中症や脱水などへの注意が必要になります。特に高齢者は加齢に伴う身体的機能の変化によって、若い頃より、さらに注意が必要になります。

①熱中症対策

高齢者は体温調節機能が低下しており、暑さを感じにくく、体内の熱を逃す能力も低下しています。そのため、室内でも熱中症になるリスクが高く、軽度の症状としてはめまい、頭痛、体のだるさ、吐き気などが現れます。室温は28度以下を目安に、湿度が高い場合は除湿や換気を行うことが推奨されています。

②脱水症予防

高齢者は筋肉量の減少や体内水分量の低下により、喉の渇きを感じにくく、脱水になりやすいです。喉が渇く前に少量ずつこまめに水分を摂ることが大事です。水だけでなくゼリー、果物、アイスクリームなども水分補給に役立ちます。入浴前後や就寝前にも水分補給を心掛けると良いです。

③食中毒対策

夏は細菌やウイルスが増えやすく、食中毒のリスクが高まります。高齢者は免疫力が低下しているため、食材の衛生管理や加熱調理、手洗いの徹底が大事です。

高齢者が夏を安全に過ごすためには、室温環境の管理、水分補給、栄養、外出時の注意、体調の観察などに気を配りながら対策していくことが大切です。

6月誕生者



おめでとうございます！！

みずの皮むきを頑張っています。



七夕に向けて、ひとりひとり、短冊に願い事を書きました。真剣に書いています！！



天気の良い日は住み慣れた地域への外出もします！！



5月に植えた野菜の苗も大きくなり、少しずつ収穫できるようになりました。

